

防災戦略の意思決定プロセスに資する総合的な  
自然災害安全性指標（GNS）実現に関する研究委員会  
令和4年度第4回委員会 議事次第

場 所 : ZOOM

日 時 : 2023年1月26日（木） 13:00～15:00

出席予定者：伊藤和也，菊本統，小山倫史，平岡伸隆，飯田進史，小野田敏，大村さつき，向井友亮，  
安國恭平

不 明：永松伸吾，日下部治，稲垣秀輝，安藤伸，梶谷袈和，酒井直樹，湧川勝己，石井美帆

欠席予定者：大里重人，今井龍一

1 審議事項

1) 開催の挨拶・委員員名簿 (資料 R4-7-02)

2) 令和4年度第3回委員会議事録（案） (資料 R4-7-03)

3) WG 活動について (資料 R4-7-04)

WG1：GNSの高度化WG（次期GNS，項目1～3に該当）→全体WG

WG2：災害規模に応じた地域防災計画等の策定WG（行政向け，項目2～3に該当）

WG3：企業ニーズを含めたリスク指標検討WG（企業向け，項目4に該当）

WG4：地盤リスクに関する判例WG（項目5に該当）

WG5：現GNSの更新・公開，現GNSの利用方法WG（出典，根拠）→先行実施が良い

2022/12/6 WG5 実施

1. 自然災害に対するリスク指標GNSの更新・公開に関する検討

①全国統一市町村版GNSの作成について

②GNSの可視化（平岡幹事，飯田委員）

③市町村版GNSデータの利用・公開について

・関東支部の委員会ページの作成について

1. GNSってなに？（ねらい・思想）

2. GNSはこうやってできています（算定手順）

3. GNSで使っているデータ（出典，時点）

4. 利活用例（ユースケースの仮説）

5. よくある質問

6. 免責事項

- ・防災科研のデータプラットフォーム  
「地域防災 WEB」 <https://chiiki-bosai.jp/> と GNS の連携について  
伊藤の不幸により防災科研担当者との打ち合わせが未実施

- ・ G 空間情報データベース

2. 防災減災に対する公共投資の妥当性・進捗の把握手法

3. 「居住地域の再考」の包括的な根拠となりうる指標

4. 企業の BCP・BCM に寄与できる新たな指標の開発

5. 地盤リスクに関する判例分析

6. GNS を利用した講習会等の普及活動の実施

- ①青本（地盤調査法）の執筆依頼（主査：稲垣顧問，執筆担当：伊藤）

2.8 ハザードとリスク評価

- ②地盤工学会災害調査論文集「関東地震 100 年地盤災害を振り返る」

4) その他・連絡事項

(資料 R4-7-05)

- ・内閣官房国土強靱化室関係

全く進捗無し。

- ・学会での発表について

土木学会関東支部（安國オブザーバー）

- ・学会への問い合わせへの対応

東京理科大学 海野先生へ返信

- ・報告書『相互に関連する災害リスク 2021/2022 年』（大里幹事）

国連大学環境・人間の安全保障研究所（UNU-EHS）発刊

<https://bit.ly/3Q12nzB>

世界中で起きた 10 件の災害を分析しています。災害は、知名度が高く、大規模なグローバル課題を代表するものが選ばれ、そこから災害同士に共通する根本原因や要因を特定し、複数の災害リスクを予防または軽減し得る以下 8 つのソリューションを提示しています。

- ①自然を活かす（自然の作用と共生する）
- ②イノベーションを起こす（新しいアイデアを活かす）
- ③力を合わせる（協力を強化する）
- ④生計を守る（人々を守るためのセーフティネットを確立する）
- ⑤持続可能な消費（消費パターンを修正する）
- ⑥ガバナンスを強化する（組織・団体の能力を強化する）
- ⑦リスク対策をとる（リスクに配慮したインフラを設計・建設する）
- ⑧早期警報システムを強化する（リスクの予測・伝達能力を強化する）

5) 次回（第8回委員会）の予定（日時と話題提供者）

各WG活動：

第8回委員会：2023年 月 日 : ~ : ZOOM/対面

話題提供者：

## 2 配布資料

- 04-7-01. 議事次第
- 04-7-02. 名簿案
- 04-7-03. 令和4年度第3回委員会議事録（案）
- 04-7-04. 委員会進捗関係資料
- 04-7-05. その他関連資料

以上